

こころにスマイル 未来創造パーク

6羽のキングペンギンの赤ちゃんが誕生しました！



キングペンギンの赤ちゃん



親鳥から子へ給餌の様子

2月16日撮影

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、2019年1月から2月にかけてキングペンギンがベビーラッシュを迎え、6羽の赤ちゃんが誕生しました。その内の5羽はペンギン王国で親子一緒に暮らしており、1羽は人工育雛を行っております。キングペンギンは全18種のペンギンの中で2番目に体が大きく（体長85～95cm）、成長すると胸元や頭部の黄色い模様が大変色鮮やかなことから、世界で最も美しいペンギンと言われています。

【キングペンギンの成長過程】



【キングペンギンの赤ちゃん公開について】

- 公開時間：開園から終日ご覧いただけます。
 - 公開場所：ペンギン王国2階
- ※人工育雛の1羽はバックヤードで暮らしております。



2月16日撮影

【キングペンギンの赤ちゃんについて】

誕生日	出生体重	現在の体重	孵化日数	性別	公開場所
1月11日	195g	4,984 g	58日	不明	ペンギン王国 2 階
1月19日	198g	3,640g	55日		
1月27日	190g	2,252g	53日		
2月1日	222g	2,106g	54日		
2月10日	187g	613g	54日		
2月13日	192g	364g	54日		バックヤードで 人工育雛中

2019年2月27日現在

※性別について：見た目に雌雄判別は難しく、血液による性別診断で判明します

※動物の体調、成長具合によってはご覧いただけない可能性もございます。

【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【アドベンチャーワールド ペンギン繁殖実績について】

1978年：フンボルトペンギン初繁殖

1990年：アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギンの卵を搬入
人工孵化、育雛を行う

1992年：キングペンギンの卵を搬入。人工孵化、育雛を行う

1994年：ジェンツーペンギン初繁殖

1995年：キングペンギン初繁殖

1996年：アデリーペンギン初繁殖

1997年：エンペラーペンギンの赤ちゃんを搬入、人工育雛を行う

1998年：ケープペンギン初繁殖

1999年：ヒゲペンギン初繁殖

2004年：世界でも2園館目となるエンペラーペンギンの繁殖に国内初成功

2005年：エンペラーペンギンの国内初繁殖に対して日本動物園水族館協会より「繁殖賞」を受賞

2006年：イワトビペンギン初繁殖。これにより国内最多となる8種類のペンギンの繁殖に成功

〈キングペンギンについて〉

■分類：ペンギン目ペンギン科 ■学名：*Aptenodytes patagonicus* ■英名：King Penguin

■生息地：フォークランド諸島、サウスジョージア島などの亜南極圏

■食性：アドベンチャーワールドでは主にホッケ、シシャモなど

■繁殖：1度の繁殖で1個の卵を産み、足の上のせ腹部の皮をかぶせ54日後抱卵。抱卵子育てはオス・メスが行う。 ■寿命：20～30年 ■体重：約15kg ■体長：85～95cm

■特徴：名前の由来はエンペラーペンギンの発見までは最も大きなペンギンとされていたことから、キング（オウサマ）ペンギンと名付けられた。頭や胸元の鮮やかな色が特徴。